

光山だより

11月号
発行
大沢あいのまちづくり
協議会広報部

<http://www.ozo.jp>

菊日和

大盛会の町民芸術祭

菊の香り漂う十一月三日〜四日の両日、神戸市立フルーツ・フラワーパークにおいて”縁と人情豊かなふるさとのおおぞう”をテーマに開催させていただきました。皆様方には大変お世話になりました。幼稚園児から熟年者まで広範囲にわたり、いづれも丹精こめられた作品や、日ごろの練習の成果を發揮された演技でありました。又お茶席も、大勢の方に結構な煎茶のお手前を有難う御座いました。会場の入り口では菊花展の美しさに、足を止め熱心に鑑賞されおりました。

この会場を町外の方々にも見ていただき、大沢町の良さをアピール



ルする大
きな機会
でもあり、大沢町民と都市住民とのふれあいを大いに高める事が出来ました。フルーツ・フラワーパークには会場設営や展示資材等につきまして大変お世話になりました。厚くお礼を申し上げます。

来年の第二十八回芸術祭のために今から工夫をこらした作品の製作や演技の構想など考えて見てはいかがでしょうかでしょうか。今後とも皆様のご協力ご支援をお願い申し上げます。

この企画を成功させるため御協力いただいた方々に感謝致します。
(東本 暁)

歳末たすけあい募金が始まります

歳末たすけあい募金は、昭和34年から共同募金の一環として行われています。運動期間は10月から12月までの3ヶ月間です。

この募金活動で集められたお金は、区内の地域福祉活動を支援するために活かされています

健康ウォーク

大沢を歩く

去る十一月二十四日、北区役所、神戸電鉄、そして日西原自治会の協力による「健康ウォーク」が開催されました。一般より募集した七十名の市民と、地域の体育協力員や、行政からの約二十名が大沢中学校に集まり歩き方の講習を受けた後、光山寺に向けて出発しました。案内役は、当地区の山田暢広、下坂正博の両氏で、素晴らしい天候の下、晩秋の景色を楽しんでいたできました。「このような場所が大沢にあったのか」と各参加者からは賞賛の言葉をいただきました。お昼には「しあわせクラブ」の協力をいただきおにぎりとお米や野菜をしっかりとPRすることができました。

前日から準備や、境内の掃除を行っていた皆様をはじめ多くの皆様のご協力、ほんとうに有り難うございました。(藤本喜郎)

決定!

県民交流広場事業助成

申請中の助成が決定しました。地域福祉センターが改修されます



ケムスの取組みを 地域につなぐ

KEMS (神戸環境マネジメン
トシステム) と聞いても聞きなれ
ない方もおられると思いますが、
簡単に言いますと地球環境を守る
ということなんです。子供たちは学校

で節水・節電・紙のリサイクルに
心がけ、「地域クリーン活動」や
「あいさつ運動」に取り組んでい
ます。また、実行する内容を大沢
小学校子供環境宣言と宣言して日
々頑張っています。子供環境宣言
の中には地域の大人たちに伝えたい
ことで「きれいな心の手本をみ
せてください」としています。たと
えば、タバコ等のポイ捨てはしな
い、近い所は徒歩か自転車で行く
ようにする、買物袋は持っていく、
リサイクルゴミは資源として分別
してゴミを出すなどがあります。
これらのことは簡単な事のようにで
すが、なかなかできていないのが
現状です。

婦人会の資源集団回収に雑紙も
回収されるようになりました。お

菓子の箱やパンフレット、包装紙
などがあります。雑紙のリサイク
ルも知ってから集めるようにして
います。今までは燃えるゴミにし
ていたのが、日々の生活の中で雑
紙類のゴミが沢山あることを再認
識しているところです。

今日から「もったいない」と思
う気持ちを大切に、リサイクル
を心がけ、子供たちに負けない活
動で環境保全の継続に繋げていき
たいと思っています。大沢町の皆
様も一人一人が出来ることから
始めてみてください。

(PTA副会長 岡波 有里子)

消防団だより

ポンプ操法大会 結果について

十一月四日(日)、サントリー
(株)から神戸市に対しての消防積載
車と小型動力ポンプの授与式が行
われ、その後、第八回神戸市消防
団小型動力ポンプ操法大会が行わ
れました。今回は第五分団(簾)
が出場しました。大会に備え、消
防署員の指導のもと、日曜日の早

朝に訓練を行い、支団本部をはじ
め、各分団の皆さんにご支援いた
だきました。ご期待にお応えす
ることができず、二十四チーム中
十九位に終わりました。しかし、
少ない団員の中から選抜した選手
で精一杯頑張った結果ですので、
悔いはありません。ご支援いた
だいた皆さんには本当にありがた
うございました。大会の結果はとも
かく、我々消防団員は、地域の皆
さんが安心して暮らせるよう、頑
張っておりますので、今後ともご
支援ご協力いただきますよう、よ
ろしくお願いいたします。

(第五分団 下浦利英)

まちづくりに部会だより

西條遊児さんと 話そう会

十一月二十二日 午後八時から
地域福祉センターに於いて、サン
テレビ、ラジオ関西等に出演・活
躍中の西條遊児さんをお招きし会
を開催しました。

「もっと、人前でうまく話せたら

いいのに」「自分の言いたい事を
うまく伝えられないことがある」
など、皆さんが普段感じておられ
る事に対して、その解決策を講師
(トレーナー)の経験・生活体験か
ら話をしていただき、参加者一人
ひとりが自己啓発を行う中で地域
参加へのきっかけづくり等を図る
ために実施したものです。

「上手に話す」とはいいですよ。
自分の言葉として話してください
。自分だけが持っているものを
見つけてアピールすること。」と
か、当日の参加者約五十名にとっ
て、色々な角度からヒントをいた
だいたのではないのでしょうか。
あっといふ間の一時間でした。

(大家 重明)



西條遊児さん

ひまわり配食サービス

感謝状

去る十一月五日、神戸国際ホー
ルに於いて「平成十九年度神戸市
社会福祉大会」が開催され、社会
福祉に貢献された方々が表彰され
ました。私たち「ひまわり配食サー
ビス」も神戸市社協より感謝状を
いただきました。ふれあい昼食
会に出席されないひとり暮らしの
お年寄りにも同じようにサービス
を受けていただきたいとの思いか
ら、平成十三年十一月より毎月一
回、らぼーとで作っていたいただ
いお弁当をお届けしています。同時
に友愛訪問・安否の確認・お話相
手などの活動が続けて早や六年、
今では心待ちにしてくださる利用
者の方々のためにも、活動を継続

感謝状

ひまわり配食サービス

ひまわり配食サービス様

おははは社会福祉事業に深い理解
を示され長年にわたりのひまわり
奉仕活動を行われました

こは平成17年度神戸市社会福祉
大会に際し深く感謝の意を表します

平成19年11月5日

神戸市社会福祉協議会

理事長 今井 雄

させていかなければという思いで
す。「らぼーと」のスタッフのこ
協力はもちろん、前児童館長の福
尾先生をはじめ活動を支えるメン
バーの皆さんの温かい支援に、
心より感謝いたします。

(東本 幸代)



去る十一月七日、介護予防のレ
クリエーション講習会が開催さ
れ、福祉レクリエーション講師の
中垣和子先生に介護予防につな
がる体操・ゲームの指導を受けま
した。

レクリエーションは、健康のた
めだけでなく、人と人のコミュニ
ケーションを深め、心地よい雰
気づくり関係づくりに役立ちま
す。笑い声の上がるなごやかな雰
囲気の中で、体力アップ体操、健
康体操、ゲームの実習。高齢者が
健康で元気に暮らすために、そし
てその予備軍の私たちも健康で若
々しくあるために、毎月の「ふれ
あい喫茶」の中で実施すること
で、そのお手伝いできればと思いま

す。「ボランティアの皆さんが心
も体も元気であることが、周りの
方を幸せで元気にしてあげること
になります。」先生のこの一言が
心に残りました。(高山 潤子)

ふれあい

親子の会

十一月二十二日、「わら細工」
を通して小学校とあわせクラブ
が交流会をもちました。

低学年は、「縄ない」、中学年
は、「鍋敷き」、高学年は「しめ
かざり」に取り組みました。

お年寄りが、やさしい言葉と態
度で接し、そばで子どもたちは慣
れない手つきで頑張っている姿
は、とてもほほえましい光景です。
時代と共にわら細工は、消え去
ろうとしています。私たちは、今
こそ、このような伝統的な文化を
後世に伝え残す努力をしなければ
なりません。

また、当日の様子が翌日の神戸
新聞にも紹介されました。終了後、
各教室で一緒に給食もいただき、
素直な子どもたちとのふれあい
で、心も体も若返った一日でした。
(下坂 正博)

青少協だより

子供が安心して過ごせるまちに 地域のみんなが子供をさうら

登下校中の子供が巻き込まれる
事件が県下でも起こりました。日
頃から安全な過ごし方について教
えられ、防犯ブザーも持っていた
でしように、残念なことです。我
がまちで、絶対にこのようない
ことが起こらないように、地域が皆で
見守る防犯活動を展開していく必
要性を改めて教えられたわけで
す。また、子どもたちにも、自分
の身は自分で守っていくことを教
えて行くことも大切なことです。
子供の安全は、大人の見守りの目
を増やすことと、子供自身が危機
回避能力を身につけることの両方
で安全・安心なまちを作りましょ
う。
(支部長 和田耕次)

大沢社会福祉協議会のご寄付

大沢町社会福祉協議会に前中悠
一様(上大沢)より善意のご寄付を
いただきました。ご寄付の趣旨に
そって有意義に使わせていただき
ます。ありがとうございます。

おぼろぎんのおすすめ

「たまごもち」の作り方

料理大好き日本茶だいですきな私です。正月など、子・孫・ひ孫とみんな揃えば総勢二十五人を超す賑やかさ。ゲームにおしゃべりにと時間を忘れての楽しいひととき。次にまた来てくれる日はいつかと心待ちにしています。そんなしあわせな日々を送る私の、おすすめ『たまごもち』をご紹介します。一度作ってみてください。

《材料》もち米…二升、

卵…L六個（Mなら七個）、砂糖…六百〜七百g、塩…大さじ一杯 《作り方》もち米を蒸し、餅つき器に移して小搗きしてよくつぶれたら、前もってよく混ぜ合わせておいた、卵・さとう・塩を加え、軽く搗きながらよく混ぜる。よく混ぜれば出来上がり。バットにラップを敷いて取り分ける。四〜五日たてば荒切りが出来ます。混ぜ合わすのにちょっと苦労します。（辻井 和子）

11月25日のふれあい食会は「らほーと」が会場です。お問い合わせの上お越し下さい。

「らほーと」便利



みんなでささえる地球

今年も大浜芸術祭に通りハビリアーシヨンのみなさんの共同作品を出展いたしました。地球をみんなまで支えています。地球のすぐ近くを取巻く手形は通所りハビリアーシヨンの利用者さんのもの、そしてその外をささえる無数の手形は、利用者さん・スタッフ・大浜のふれあい喫茶にご参加の方々のものです。みなさんの方が結果として、支え合う世界を主張しました。また坂井先生のご指導の下、菊も出展いたしました。今年も気の緩みや忙しさを理由に手入れが行き届かず、あまり良い花を咲かせることができませんでした。 「らほーと」に展示していますので、またご覧下さい。

投句

俳句 秋晴れや下駄カラコロと桐子来たリ
ランナーの走り行く道秋桜(あきざくら)一
鳴(な)もす一鳴きてしづかに父を恋ふ日かな
説(と)う鳥の花は有りやう菊の花
秋高し思(おも)い思(おも)いの紙千し
通(と)り(さ)るる 訳ありやうに百舌鳥の(費)に(一)
風もなく枝より離るる紅葉かな
笑し(わ)らに(は)い(や)く(は)つ(た)一の花さけり
木(き)や石(い)の影(かげ)薄(うす)くなり(は)つ(た)あなまどい
六感(ろくかん)あなまどい一地のあたたかき昨日今日
正子 佐代子 三恵子 福夫 じろ 重治 金治 弘毅

行事予定 12月 ツツ・パーク

- 1-5 ブドウのつるのリース 13:30- 体験教室
- 9 お正月寄せ植えを作る 13:30- 体験教室
- 16 人形劇 おひき主劇場 11:30- 14:00- Dコーラスクリスマスコンサート 15:00- 音楽堂
- 23 ちびっこの絵かき教室 11:00- 多目的ホール
- 24 ミニ門松作り 13:00- 体験教室
- サンダー一家の音楽隊 パレード 11:00- 14:30- ウェルカムステーション周辺
- ステージショー 13:00- イベント広場

行事経過

- 10/26 子供に関する委員会
- 10/28 のびのび農園収穫祭
- 11/3 光山だより編集委員会
- 3/4 おもしろ市場菊まつり他
- 11/7・14 パソコン教室

スポーツ情報

- 11/9・21 出合いの場実行委員会
- 11/10 神付ふるさと村収穫祭
- 11/18 農業塾
- 11/20 まちづくり部会定例会
- 少年野球 お別れ試合
- 11/17 淡河16×2 大沢

町民の動き

- 10/28 中大沢 和田智徳さん
- 11/3 中大沢 福井智恵美さんと 来田直也さん
- 11/24 中大沢 山内 彩さんと 小渕章弘さんと 林 容子さんと

おめでとう

- 11/3 市原 北尾千代美さん 59歳